

**【NEWS RELEASE】**

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

バルテス株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、バルテス株式会社（代表取締役社長：田中 真史）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※1）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、バルテス株式会社については、主に以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

## ① ソフトウェアテストサービスを通じたシステム開発の効率化、品質向上への貢献

目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用およびGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くこと等により、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

## ② 情報提供プラットフォームの運営やセミナー開催によるIT人材育成への貢献

目標4 質の高い教育を みんなに	4.4 2030年までに、技術的・職業的スキル等、雇用、働きがいのある人間らしい仕事および起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。

上記対象項目は当社の2つのメイン事業を基に判断しておりこの限りではございません。（※2）

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。

#### ■ **テスト自動化ツールでIT業界の発展に寄与**

カンタンに誰でも使えるツールとして、非エンジニアでも日本語でテストケースが作成でき、自動でテストを実施できるツールを開発しました。このように当社では、常に持続可能な産業化に向けた取組を実施し続けています。



#### ■ **オウンドメディア「Qbook」の運営でIT人材の輩出に貢献**

年間 2,100 件以上の案件を手掛ける当社が培ってきたソフトウェアテストのノウハウを基に、品質向上に役立つ情報をお届けし、日本のIT人材不足による課題解決に貢献しています。



#### ■ **時代に合わせて新たに社員制度を導入**

昨今の時代の流れに合わせて当社では、男性社員による育休制度、就業規則へパートナーシップ制度を導入しました。このような社員のライフワークバランスを尊重する社内制度を充実させ、働き方の多様化を目指しています。



<ご参考>

#### ※1 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

※2 その他SDGsへの取組はバルテス株式会社ホームページ「SDGsの取り組み」参照

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。